

(6) 都市機能

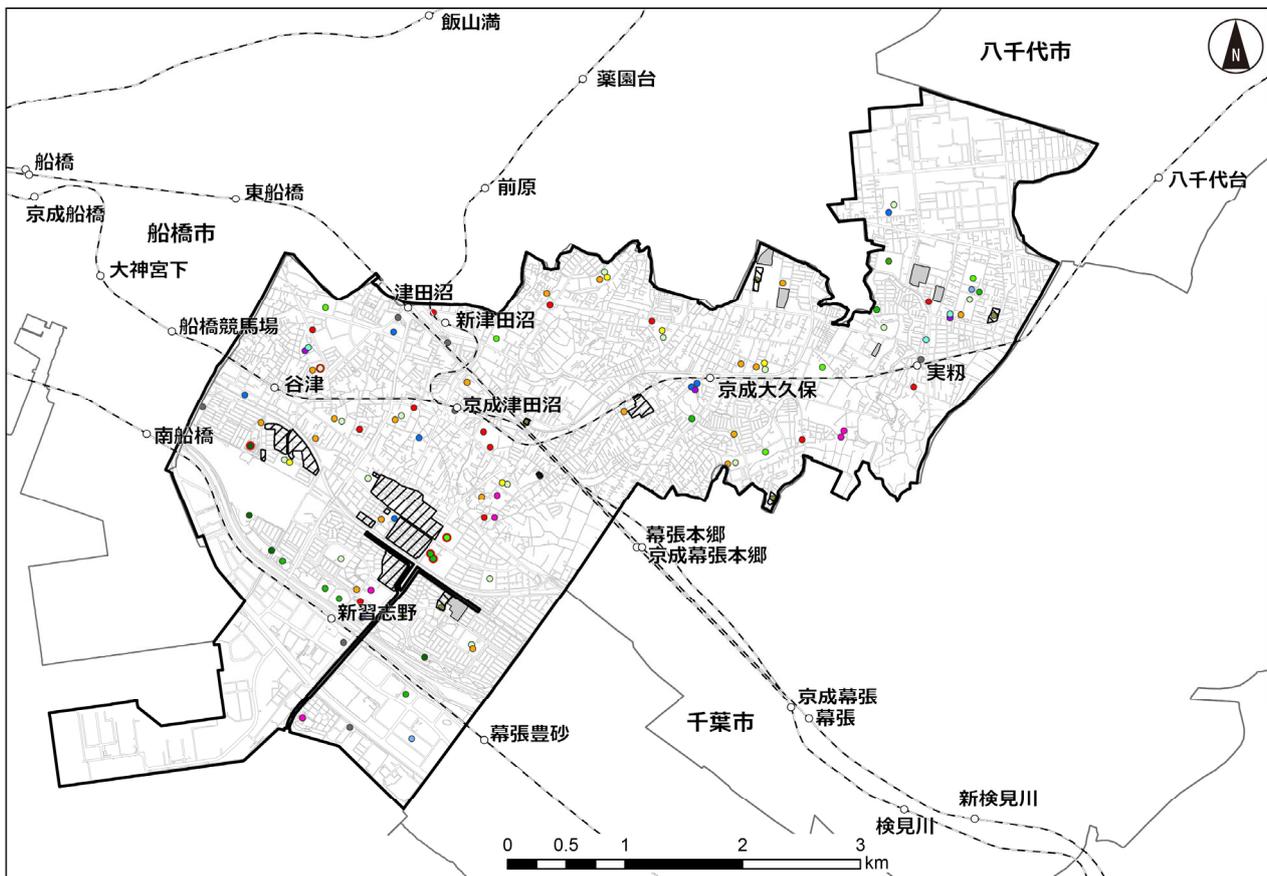
① 公共施設および住宅団地

【公共施設】

- 市内の公共施設は、116施設あり、床面積は349,609㎡となっています。このうち、学校施設（小学校、中学校、高等学校）の床面積が最も多く、186,097㎡（53.2%）となっています。
- 第2次公共建築物再生計画に基づき、116施設のうち、25施設（学校内に設置される5施設含む）は、令和19（2037）年度までに建て替えが行われることとなっています。

【住宅団地】

- 市内には、市営・県営・UR都市機構の賃貸住宅が7,268戸存在しています。
- UR都市機構の「袖ヶ浦団地」と「習志野海浜秋津」の2団地は、UR都市機構によるストック再生の対象となっており、今後、地域や団地の特性に応じた事業が行われることとなっています。



凡例	
○ 公的住宅敷地	● 公共施設
▨ UR都市機構	● 庁舎・消防施設
▨ 市営住宅	● 小学校
▨ 県営住宅	● 中学校
○ 第2次公共建築物再生計画	● 高等学校
○ 建て替え対象施設	● その他教育施設
(第2次公共建築物再生計画)	● 幼稚園・保育所・こども園・こどもセンター
	● 放課後児童会
	● 公民館・ホール
	● 図書館
	● 自治振興施設
	● 保健・福祉施設
	● スポーツ施設
	● 公園施設
	● 市営住宅
	● その他

図 公共施設および住宅団地の現状

資料：第2次公共建築物再生計画(R2(2020).3)、UR賃貸住宅ストック活用・再生ビジョン(H30(2019).12)、千葉県県営住宅長寿命化計画(H31(2020).3)、習志野市HP

② 生活利便施設などの立地状況

【商業施設】

- 商業施設の徒歩圏人口カバー率は99.7%、人口密度は87.7人/ha と、居住人口のある市街地がおおむねカバーされています。
- 商業施設は、108カ所存在し、その内訳は、スーパーマーケットが26カ所、ドラッグストアが20カ所、コンビニエンスストアが62カ所となっています。

※商業施設:スーパーマーケット(大規模商業施設含む)、ドラッグストア、コンビニエンスストア

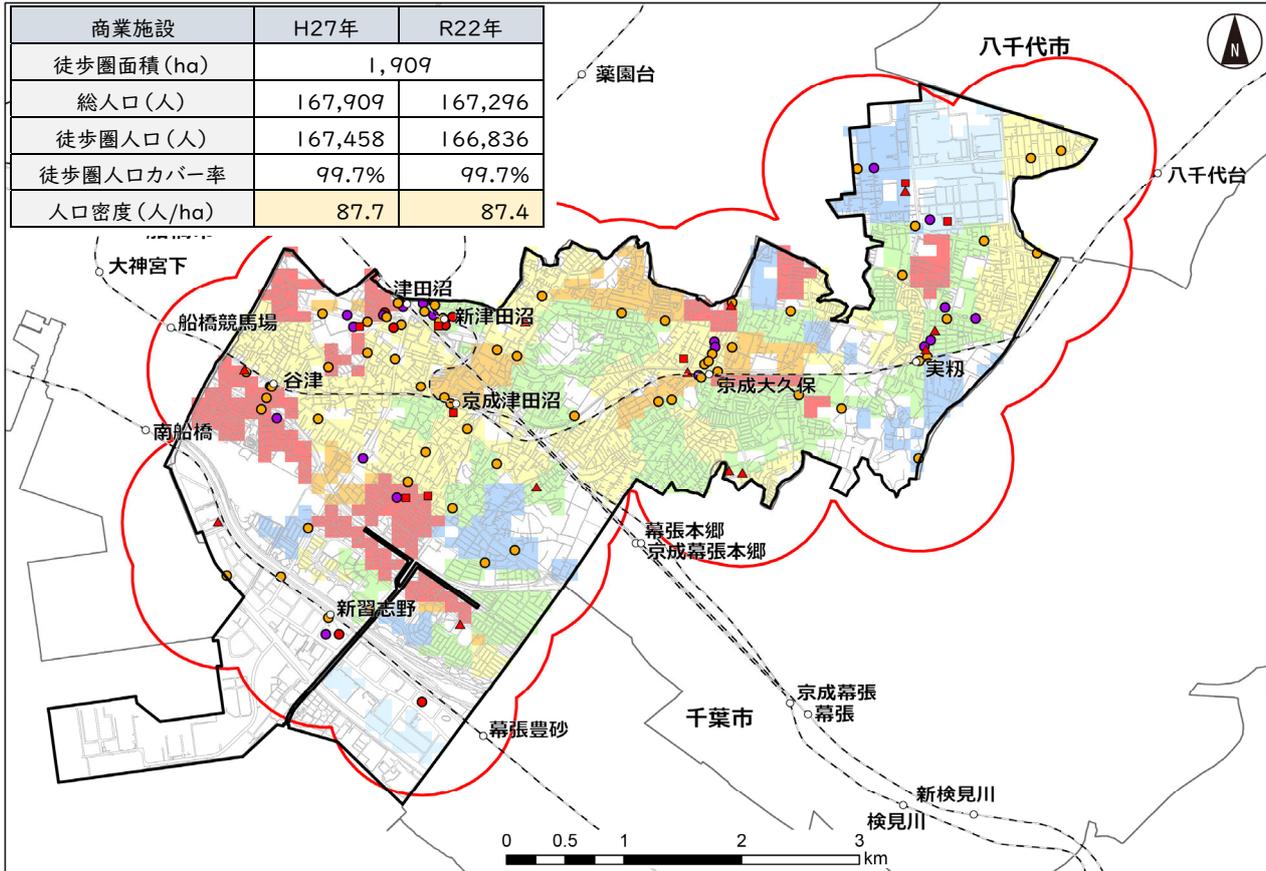


図 商業施設の徒歩圏×平成 27(2015)年 総人口

資料:各商業施設 HP

※徒歩圏人口、人口密度などの数値は市作成資料

【医療施設】

- 医療施設の徒歩圏人口カバー率は96.4%、人口密度は94.3人/haとなっています。
- 医療施設数は、61カ所となっています。

※医療施設:内科・外科・小児科

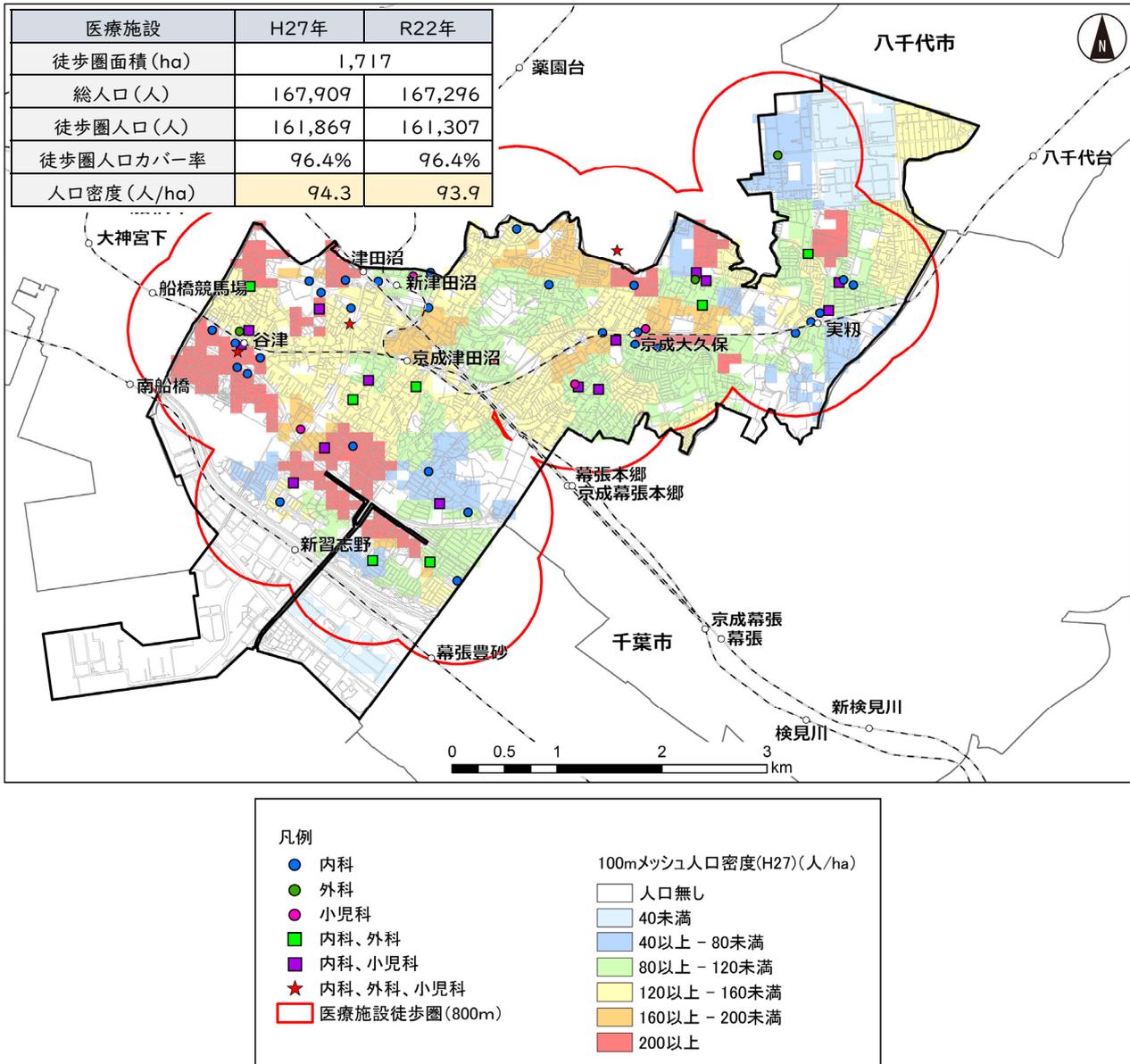


図 医療施設(内科・外科・小児科)の徒歩圏×平成 27(2015)年 総人口

資料:習志野市 HP

※徒歩圏人口、人口密度などの数値は市作成資料

【子育て支援施設】

- 子育て支援施設の徒歩圏年少人口カバー率は97.3%、年少人口の人口密度は12.5人/haとなっています。
- 子育て支援施設は、86カ所となっています。

※子育て支援施設：こども園、小規模保育施設、保育所、放課後児童会、幼稚園など

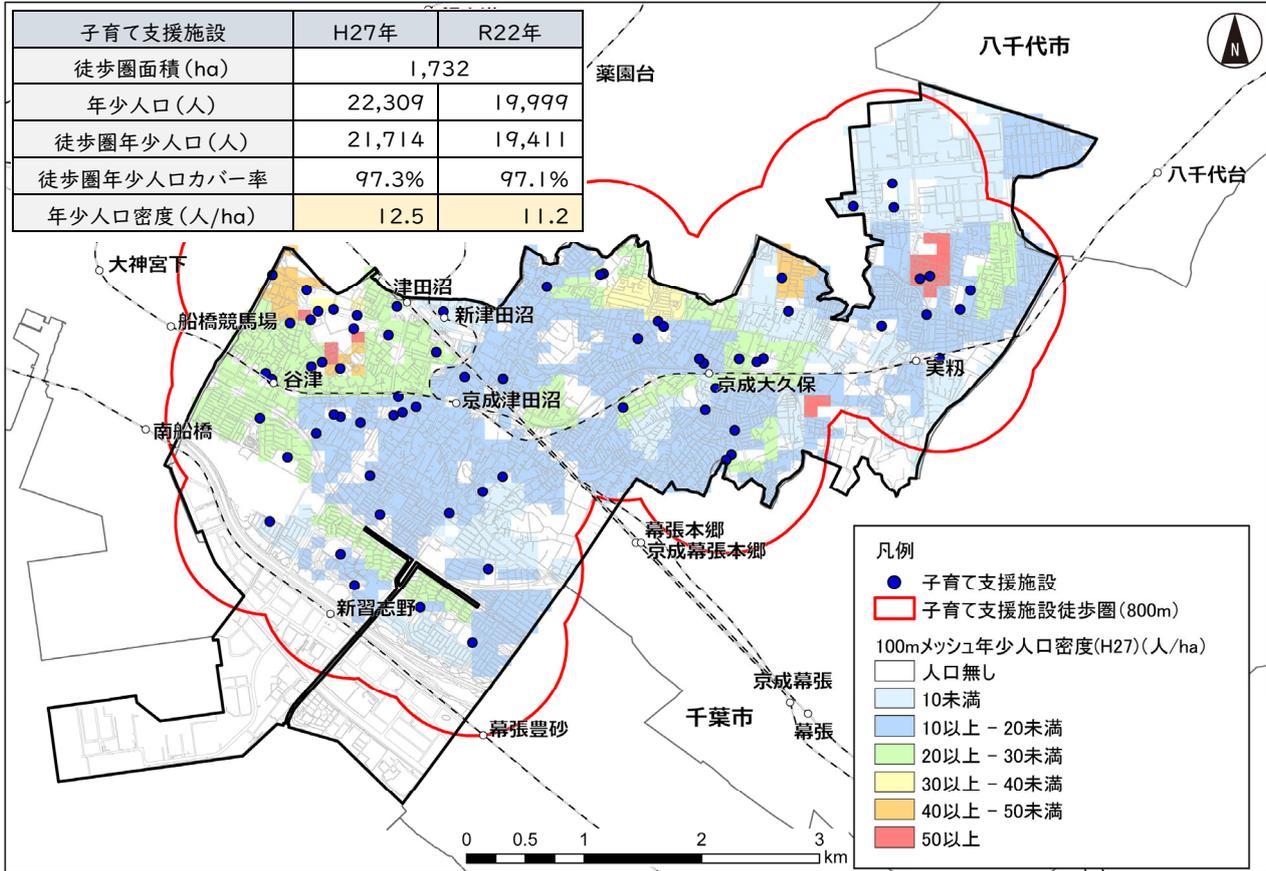


図 子育て支援施設の徒歩圏×平成 27(2015)年 年少人口

資料：習志野市 HP

※徒歩圏人口、人口密度などの数値は市作成資料

【老人福祉施設】

- 老人福祉施設の徒歩圏老年人口カバー率は98.9%、老年人口の人口密度は20.9人/haとなっています。
- 老人福祉施設は、87カ所存在し、その内訳は、グループホームが11カ所、デイサービスが51カ所、ヘルスステーションが5カ所、特定施設入居者生活介護が6カ所、特別養護老人ホームが6カ所、地域包括支援センターが5カ所、養護老人ホームが1カ所、老人福祉センターが2カ所となっています。

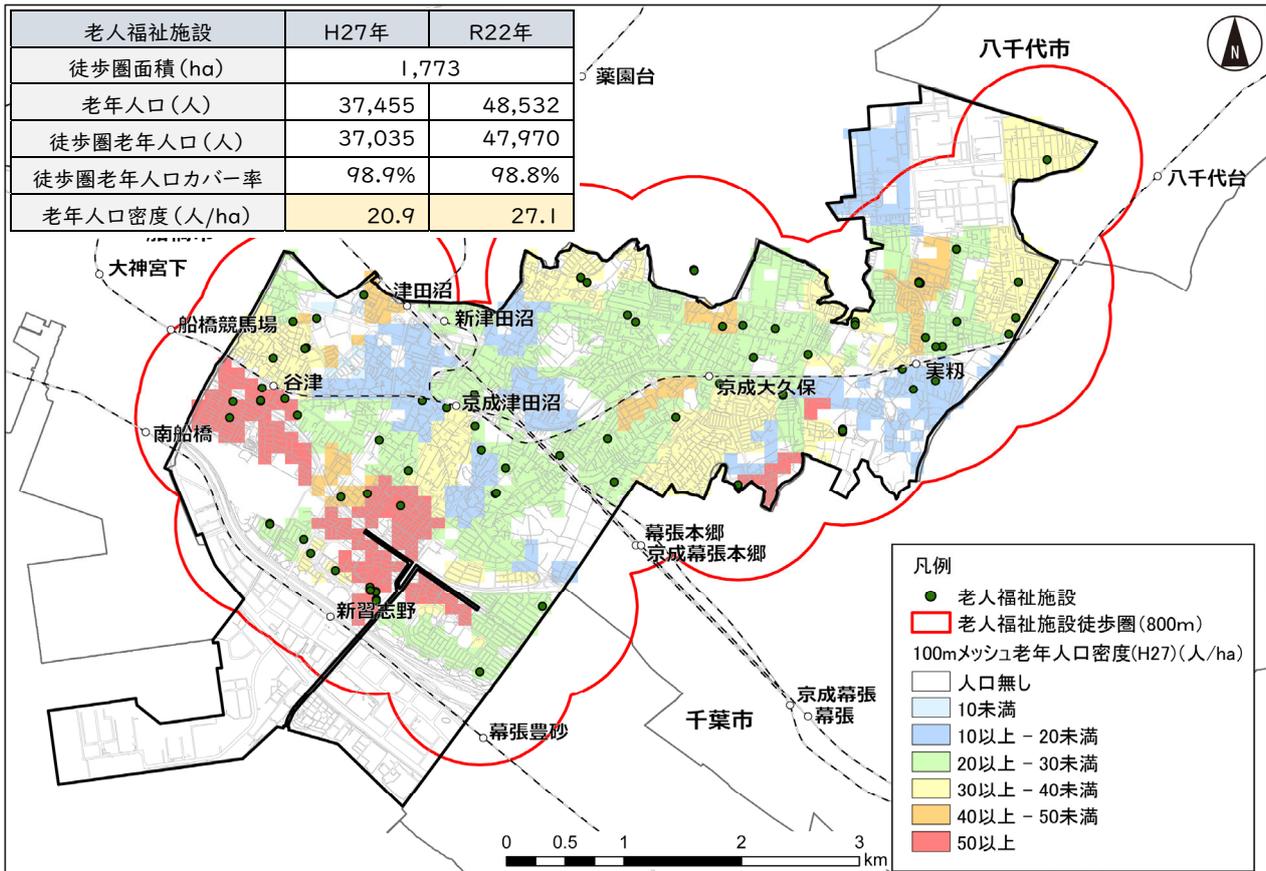


図 老人福祉施設の徒歩圏×平成 27(2015)年 老年人口

資料:ハートページナビ HP

※徒歩圏人口、人口密度などの数値は市作成資料

第2章 習志野市の現状と課題

【金融機関】

- 金融機関の徒歩圏人口カバー率は、92.6%、人口密度は100.6人/haとなっています。
- 金融機関は、26カ所となっています。

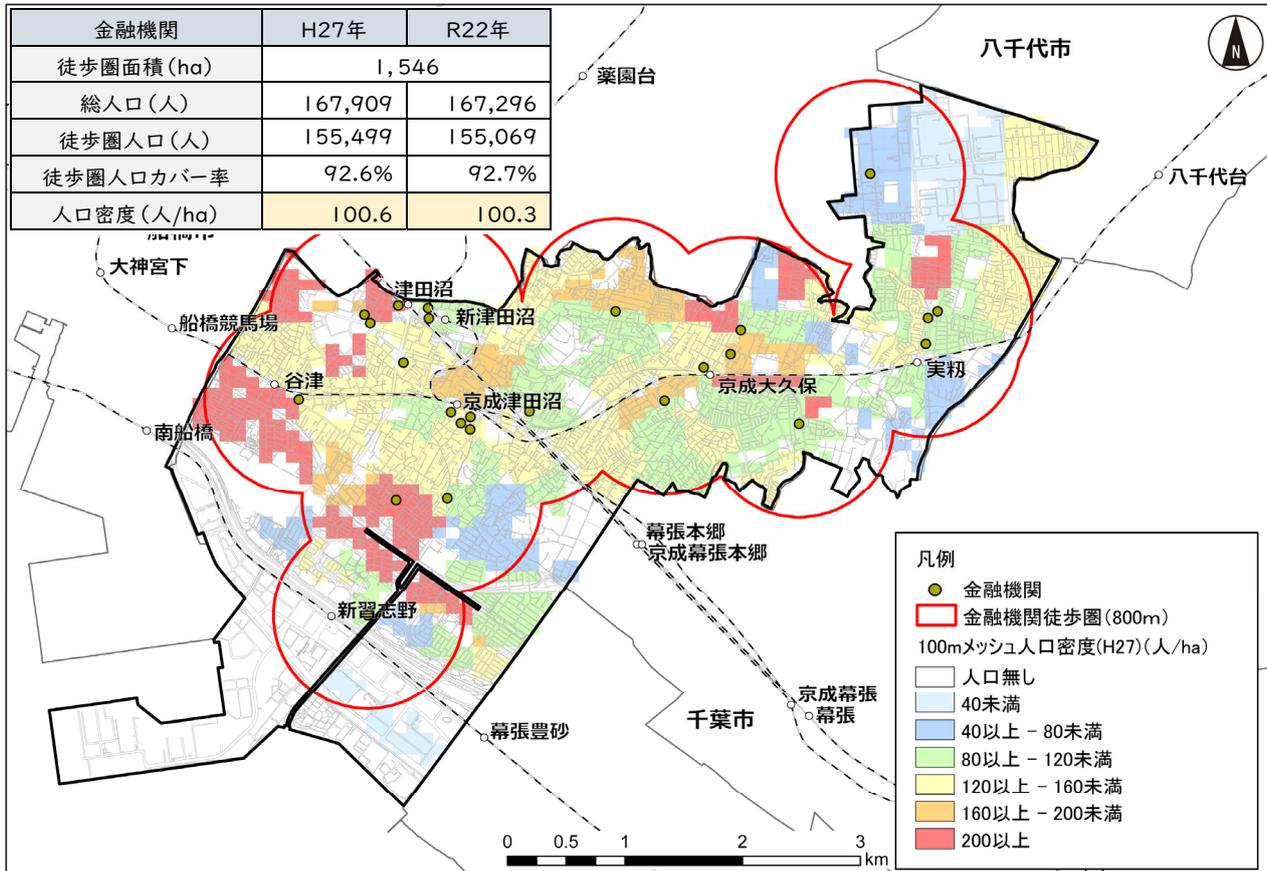


図 金融機関の徒歩圏×平成27(2015)年 総人口

資料: 各金融機関 HP

※徒歩圏人口、人口密度などの数値は市作成資料

【生活利便施設などの複合カバー状況】

- 6つの生活利便施設などの徒歩圏を重ね合わせた結果、市内面積の約70%で6種類すべてカバーしており、カバー圏域は、鉄道駅周辺が多くなっています。
- 6つの生活利便施設などの徒歩圏人口カバー率は、91.5%となっています。

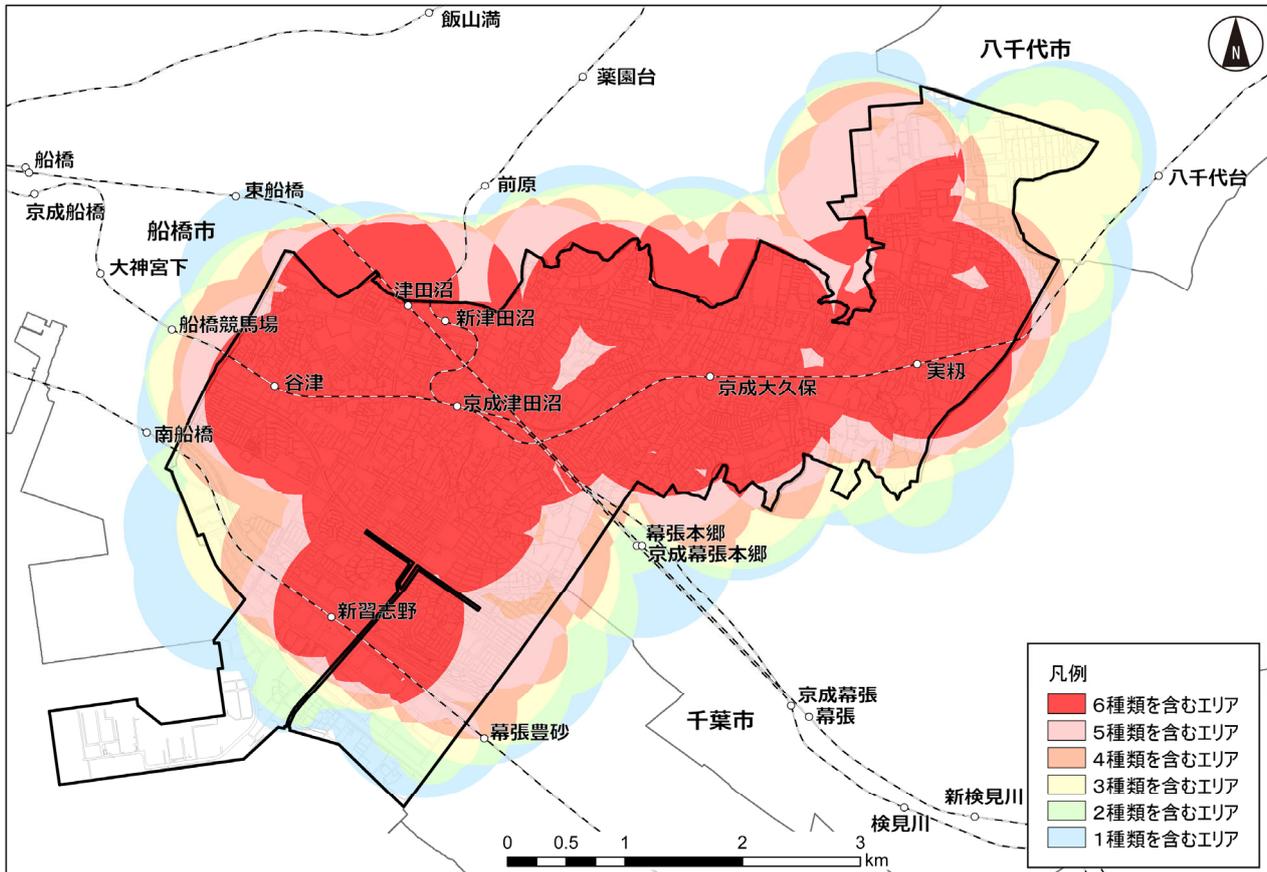


図 生活利便施設などの徒歩圏の重なり状況

表 生活利便施設など(種別)と具体的な施設、徒歩圏距離

No	種別	具体的な施設	徒歩圏
1	商業施設	スーパーマーケット(大規模商業施設含む)、コンビニエンスストア、ドラッグストア	800m(徒歩約10分圏)
2	医療施設	内科・外科・小児科	800m(徒歩約10分圏)
3	子育て支援施設	こども園、小規模保育施設、他の幼児施設、保育所、放課後児童会、幼稚園など	800m(徒歩約10分圏)
4	老人福祉施設	グループホーム、デイサービス、ヘルスステーション、介護付有料老人ホーム、介護老人福祉施設、高齢者福祉センター、地域包括支援センター、特定施設入居者生活介護、特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、老人福祉センター	800m(徒歩約10分圏)
5	金融機関	銀行、信用金庫、JA、郵便局	800m(徒歩約10分圏)
6	公共交通	鉄道駅、バス停留所	鉄道駅:800m(徒歩約10分圏) バス停留所:300m(徒歩約4分圏)

(7) 都市施設

① 道路

- 市内の都市計画道路は、27路線（幹線街路24路線、特殊街路3路線）となっています。
- 事業中、未整備の都市計画道路は14路線あります。
- 長期未着手となっている都市計画道路などについて「習志野市都市計画道路等見直し方針（令和2（2020）年8月）」を策定し、この方針に基づき、令和4（2022）年3月に都市計画道路の変更を行いました。

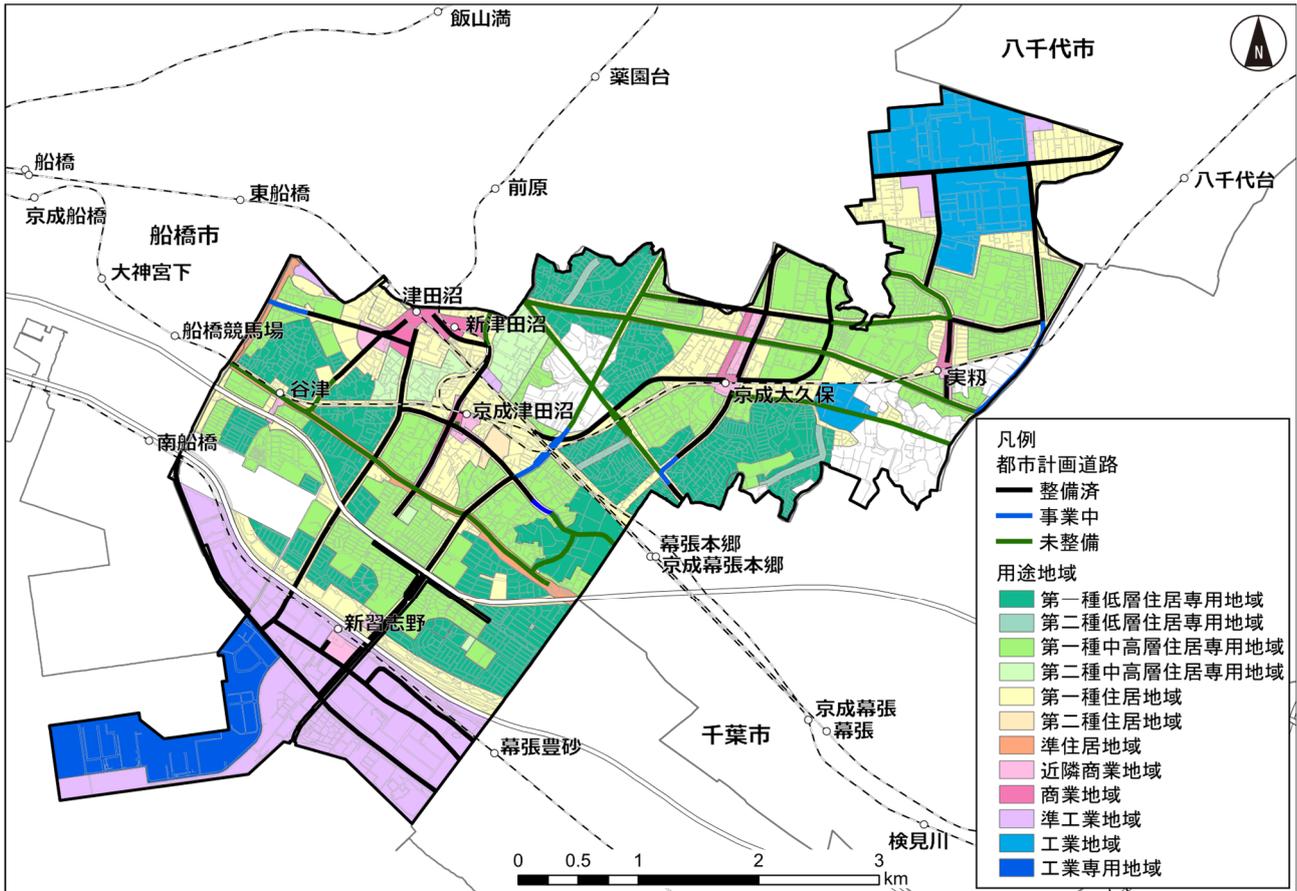


図 都市計画道路の整備状況

資料：平成 28 年度習志野市都市計画基礎調査、習志野市資料

表 都市計画道路の整備状況

番号	路線名	番号	路線名	番号	路線名
3・3・1	東習志野実籾線	3・4・10	大久保駅前線	3・4・19	津田沼谷津線
3・3・2	津田沼駅前線	3・4・11	大久保鷺沼台線	3・1・20	谷津芝園線
3・3・3	藤崎茜浜線	3・4・12	東習志野八千代線	3・3・21	茜浜芝園線
3・4・4	藤崎花咲線	3・4・13	実籾駅前線	3・1・22	新習志野駅前線
3・4・5	津田沼駅北口新京成線	3・4・14	実籾駅南口線	3・4・23	芝園線
3・4・6	京成津田沼駅前線	3・4・15	大久保本郷線	3・4・24	鷺沼線
3・4・7	浜宿線	3・4・16	藤崎東習志野線	8・6・1	大久保東習志野線
3・4・8	菊田台谷津線	3・4・17	若松東習志野線	8・6・2	大久保袖ヶ浦線
3・4・9	谷津鷺沼線	3・5・18	藤崎実籾線	8・5・3	津田沼1号線

黒：整備済 青：一部未整備 赤：全線未整備

② 公園・緑地

- 市内の都市計画公園は、50カ所(50.7ha)となっています。
- 市内の都市計画緑地は、8カ所(76.8ha)となっています。
- 市内の生産緑地地区は、86地区(14.72ha)となっています。
- 「習志野市緑の基本計画(令和5(2023)年1月)」では緑地の保全に重点的に配慮を加える地区として、「谷津干潟地区」、「実柗地区」を「保全配慮地区」に設定し、緑化の重点的な推進を図る地区として、「藤崎・鷺沼台地区」、「奏の杜地区」、「ウォーターフロント地区」を「緑化重点地区」に設定しています。

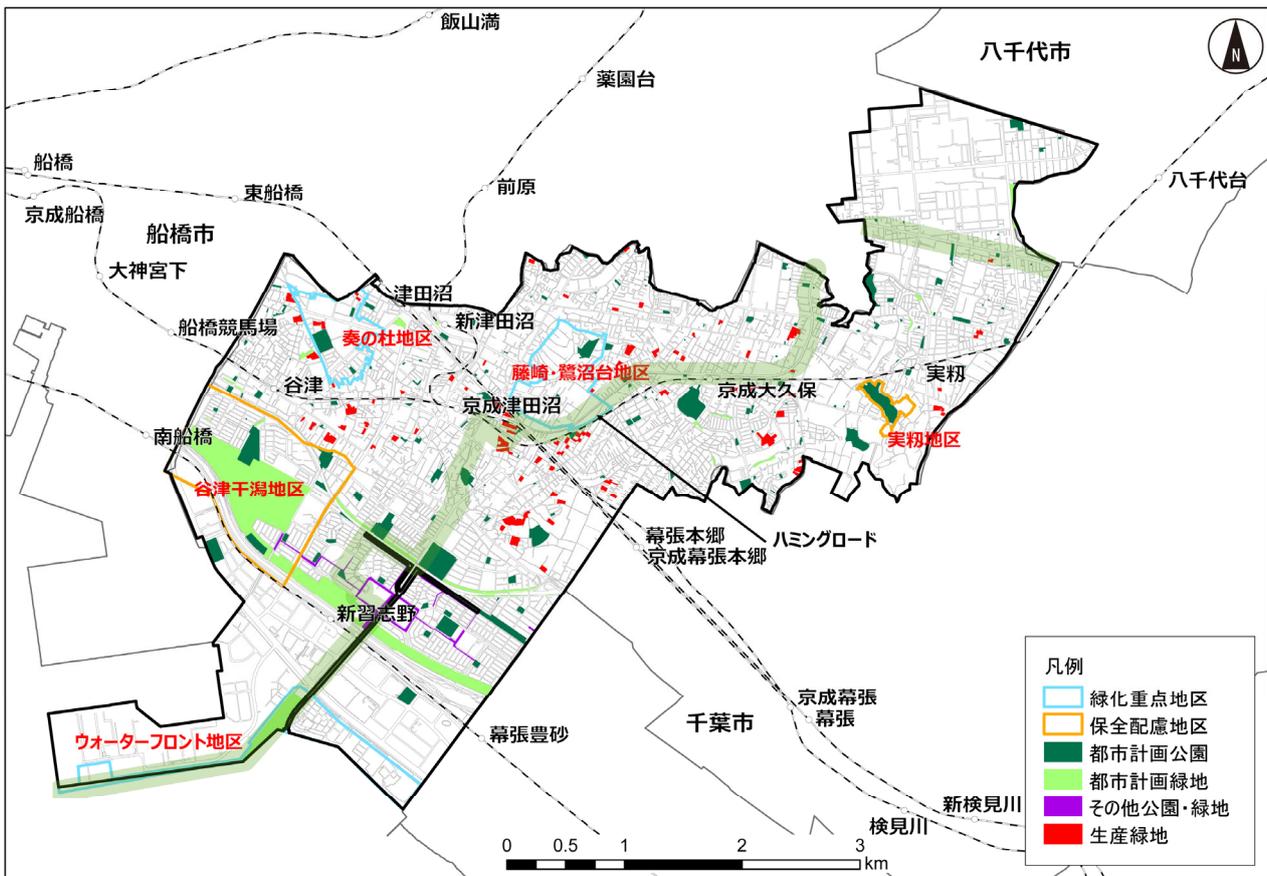


図 公園・緑地の状況

資料:平成28年度習志野市都市計画基礎調査、都市マスタープラン(H27(2015).3)、習志野市資料

第2章 習志野市の現状と課題

- 公園の徒歩圏人口カバー率は、おおむね高齢者居住メッシュ全域をカバーしています。

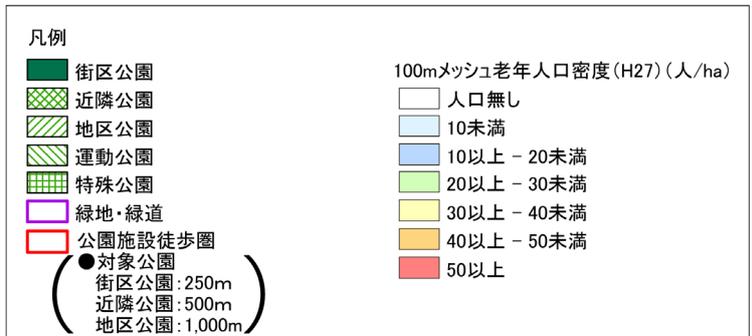
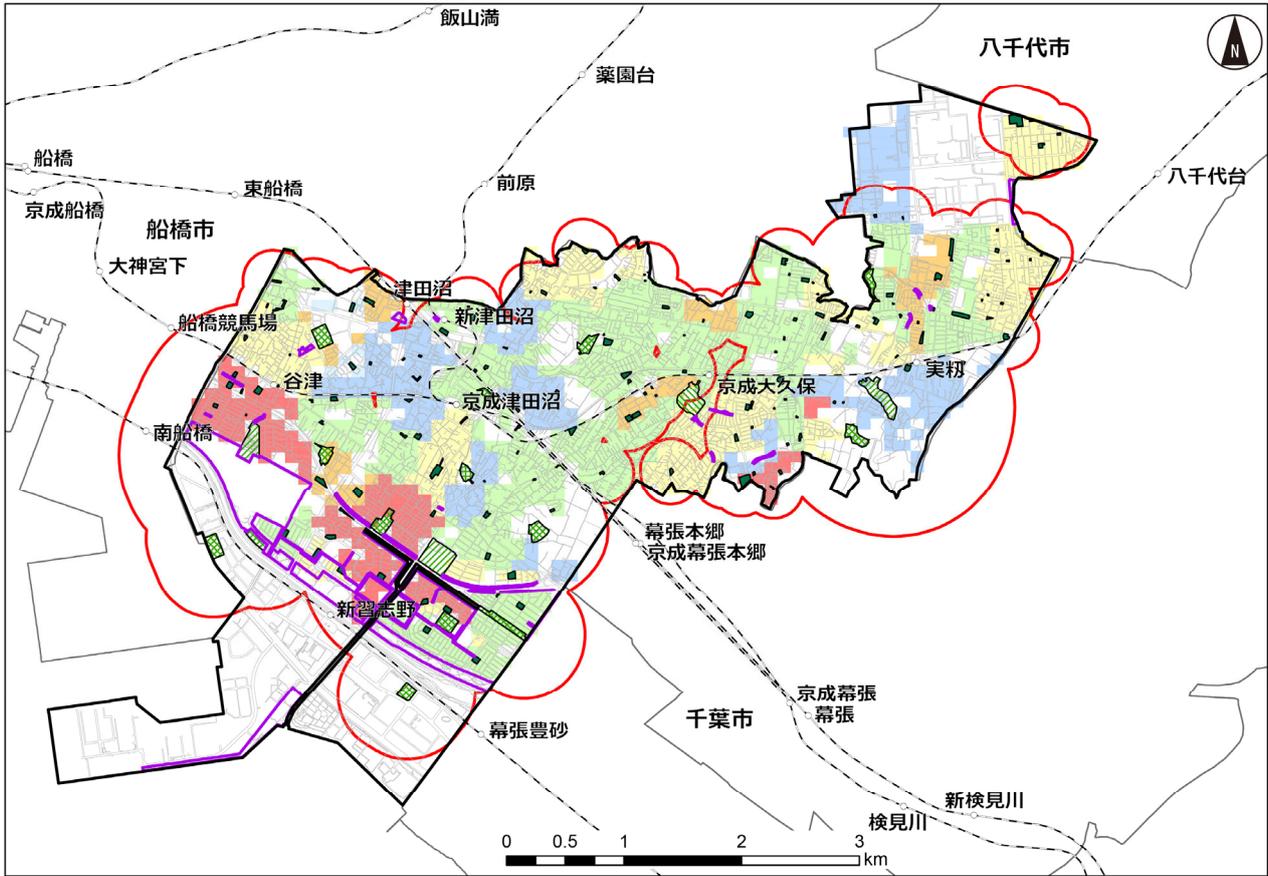


図 公園徒歩圏 × 平成 27(2015)年 老年人口

資料:平成 28 年度習志野市都市計画基礎調査、習志野市資料

(8) 三大都市圏平均の各指標との比較

本市における「生活利便性」「健康・福祉」「安全・安心」などの現状を、「都市構造の評価に関するハンドブック」における評価指標を基に、レーダーチャートを用いて三大都市圏（東京圏、大阪圏、名古屋圏の市町村）平均の値と相対的に比較しました。

【生活利便性】

- 各生活利便施設の徒歩圏人口カバー状況は、三大都市圏平均より高くなっています。
- 基幹的公共交通の徒歩圏人口カバー率、公共交通の分担率は三大都市圏平均と比較して高いものの、徒歩・自転車の分担率は低くなっています。

【健康・福祉】

- 高齢者徒歩圏内の医療施設や公園の立地状況は、三大都市圏平均と比べ高い（良好な）水準となっています。
- 老人福祉施設・保育所の徒歩圏人口カバー率は、三大都市圏平均と比べ高くなっています。

【安全・安心】

- 最寄りの避難所までの平均距離は三大都市圏平均と比べ、高い（良好な）水準となっています。
- 空家率は、三大都市圏平均と比べ、高い（良好な）水準となっています。

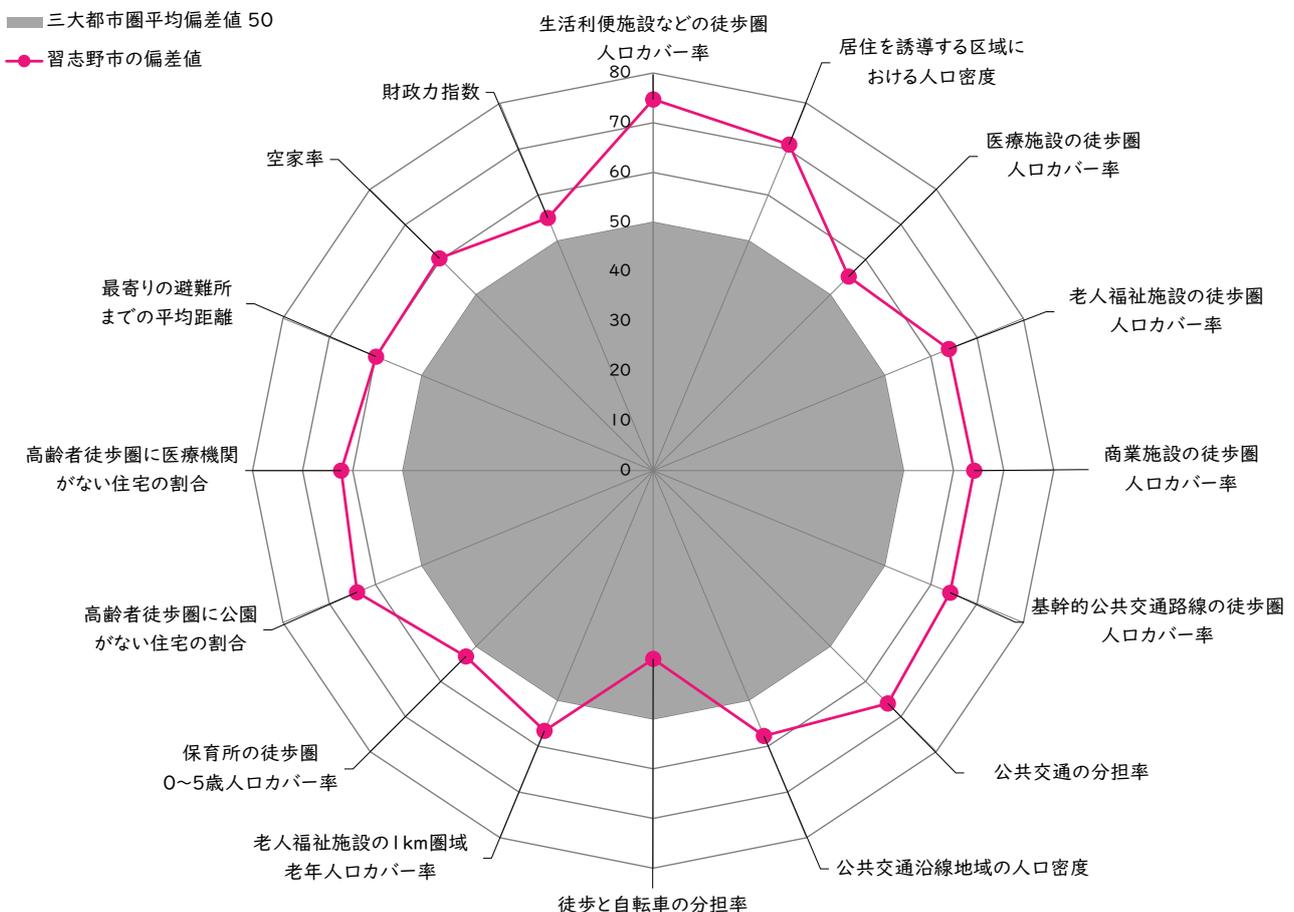


図 都市に関する各指標の評価(レーダーチャート)

2-2.都市構造上の課題

- 現状を踏まえた課題を整理したうえで、都市を構成する要素であるゾーン(居住地)、ネットワーク、拠点の観点から、「コンパクト・プラス・ネットワーク」の実現や、本市の強みを生かしたこれまで以上に便利でコンパクトな市街地の形成に向けた、都市構造上の課題を整理しました。

